

がんばろう 南三陸町 復興第1号

南三陸マイタウン情報

発行所
マイタウン企画
本吉郡南三陸町志津川字沼田150-84
TEL (47) 3069
後援:
志津川広報センター

再開「菓房山清」

登米市佐沼のコープに買い物に行った。なぜかという「菓房山清再開」と、ある地元の新聞にしばらく前に掲載されていたからだ。店前に山内社長がいた。「社長オープンしましたね。」という、「なんとかここまできました。前の店の4分の1ですが」という。従業員を解雇せずにの再開、ほんとうにご苦労様でしたと話した。長男は中学校時代に剣道の教え子でもあり、南三陸町の次の代を担う子へ引き継ぐ、新たな再生の第一歩でもある。(9月18日)



南三陸町 死者449 不明339 合計788 (9月1日現在)

去で、大型重機による作業の後の、小さい瓦礫の分別作業が展開されている。大型バスによる大企業からの被災地へのボランティアである。この地区での作業が終了してからの、200名にもなる作業終了後の大勢が引き上げる光景に、私は驚きと大きな力をこの目で痛感しました。膨大な瓦礫の撤去作業に。

◇歴史と文化

300年の歴史と文化が茅葺の建物に詰まっている。今回の大震災でものこった。震度6強の地震にも耐え「まだまだ大丈夫」とその姿を見せる。文化財としての価値も高く、多くの歴史品もある。「馬具の絵」「医療の絵」「100分の1の建物の図面」など、貴重な品々を13代目の遠藤さんは、数々の写真や資料を見せてくれた。

27日には早稲田大学の教授が来るという、震災後にはこの文化財的な価値が、ネットで発信され多くのメディアや、文化財保存の関係者や、古い茅葺建設に価値のわかる「匠」たちが、南三陸町を訪れ、名刺交換は100枚を超えているという。また全国紙から地方紙まで、この文化財の貴重さを報道した。

こんな中で四国の「四国村」がこの茅葺の家の貴重さを理解し、建物移築に動くこととなった。資金は1億円もかかるという。支援者も募りながら、「四国村」の博物館の玄関に建設を進めているという。(9月27日)



台風15号の中のボランティア作業

◇今日を大切に

今回の震災で、震災孤児が8人・母子父子家庭が154人・遺児世帯が40戸と、子供たちの現実が厳しく苦しいものがある。だが、子供たちはこのさまざまな環境の下で、今後生きていかなければいけない。

スポーツを通しひと時でもなにかに没頭することが、今の苦境から子供の気持ちを和らげる事ができると考え、早期の活動の再開を図っているが、現実には多くの子供たちが苦境にある話を聞く。しかし、子供の頑張る無邪気な笑顔を見たとき、これでいいんだと実感する。彼らのガンバリを見届けることが私たちの役目であり、それを果たしたい。

三陸新報

郵送による
購読者受付中

料金2400円

問い合わせ先……46-3069
志津川広報センター

◇台風被害

市街地は国道45号が公立病院前と、駅からの水尻橋まで、防災センターの前が通行止めとなった。う回路はデイスサービス志津川の下から、高校下を通り水尻橋に抜ける道を使っていた。

台風15号の被害は、道路の冠水と袖浜の荒沢神社付近と平磯の崖崩れが昨夜まででした。西戸地区の仮設「切曾木」への国道からの道路は寸断となり、水道の管も切断となっていた。仮設でやっと落ち着いたとおもったら、また水道管の断裂、飲料水は大丈夫なのだろうか心配だ。この仮設ならず、各地域の小さく山への仮設建設の選択を不安視していたが、現実となった。これ以上の被害とならない事を願いたい。大雨による仮設への被害が、テレビで放送されたが、大きな被害はまだ確認していない。

荒町の町道並石線も今回の台風で、収穫前の稲が砂利や泥水で覆われたと聞く。また、西戸の酪農者は牛乳の搬出が道路の寸断により、捨てるしかないとも聞く。これ以上被害のない事を願うしかない。(9月22日)

◇まるで海の中

21日の朝の志津川地区の市街地、公立志津川病院の前の道路は今まで最大の冠水で、45号線上の中央の浅いところで30cmで低い歩道の両端は50cm前後の冠水となった。水の中を車で通った後のタイヤの効き目が、いったん落ちる事を考慮しながら走行してほしい。

戸倉荒町までの国道沿いは戸倉折立も20cmの冠水となっていたが、道路まで海が押し寄せる場所の、海水流入はなかった。しかし、西戸地区の方の仮設となった「切曾木」から国道に出る道路が、折立川の増水により通行不能となった。「タコ沢」を通る山道があるというが、危険も伴わない被災者の苦悩は続いている。(9月21日)

◇ボランティアの力

現在天王前地区に多くの全国からのボランティアが活動している。台風15号の雨の中の瓦礫の撤

議会8議員が復興への質問を!



9月14日から9月定例会

防災計画に原発対策

三浦清人氏 ①町道、農道の復旧(改修)時期はいつか②漁業再開に向け、産業振興課内に水産推進室を設置する考えは③新しい防災計画の策定をどう進めるのか。

菅原辰雄氏 ①仮設住宅の入居者から仮設退去後の住まいについて、不安の声が多く聞かれる。公営住宅の建設が必要だ。地元産木材を活用し、地元の職人によって建設すべきと考えるがどうか。

山内孝樹氏 ①仮設住宅が整備され、従来のコミュニティが図れなくなった。新たなコミュニティをどう進める②救急体制の充実を図るため、幹線道路へのアクセス道の整備を。

千葉伸孝氏 ①復興住宅、公営住宅の建設時期と今後の構想は②JR気仙沼線の復旧時期は③漁業以外の第一次産業の復旧策をどう考える。

給食費年度内は無料

大瀧りう子氏 ①歌津の学校給食センターを増改築する考えは。給食費の軽減措置と今後の見通しは②仮設住宅で暮らす高齢者のために、全ての仮設住宅団地に集会所を建設すべきでは。

山内昇一氏 ①震災で町外に1次避難した人たちは、いずれ地元に戻ってくる。入谷地区に1.8%の町有地があるが、住宅団地として造成するつもりはないか。住宅建築に、南三陸産木材の活用をすべきでは。

新水源地を設置へ

鈴木春光氏 ①震災では飲料水道水の復旧に時間を費やした。新たな水道水源地を設置すべきだ。②約2400㍓ある町有の山林を宅地造成する考えは。③震災犠牲者の慰霊塔、癒しの公園の設置を。

高橋兼次氏 ①仮設住宅入居者の自立に向けた町の支援策は②がれき処理の今後の見通しを示せ③海浜高度利用センターの復旧は。

畳・襖・障子

「確かな技術」、「手ごろな価格」、「万全のアフターサービス」
御見積りや御相談などお気軽にお申しつけ下さい。

佐栄畳商工

佐沼工場 登米市迫町佐沼字梅ノ木3-1-9
TEL/FAX 0220-23-2455
本吉郡南三陸町志津川字塩入134-3
TEL 0226-46-3921

がんばろう 南三陸町!

絆

女性パソコンオペレーター(2級)
パート従業員募集!

千葉総合印刷株式会社

南三陸町荒町営業所 南三陸町戸倉字町57
携帯 080-1801-6399
本社事務所 南三陸町志津川字沼田150-84
TEL (0226) 46-3069 FAX 46-3068

父 鈴木 勝巳(八十三才) 儀
母 鈴木 キヨ子(八十二才) 儀
このたびの東日本大震災により、
三月十一日永眠致しました。
ここに生前のご厚誼を深謝し謹んで
ご通知申し上げます。
一、葬儀 十月一日(土) 午後一時
大雄寺
(本吉郡南三陸町志津川字田尻畑一〇二)
平成二十三年九月
被災住所/本吉郡南三陸町志津川字天王山七二一七
喪主住所/登米市東和町米谷字越路九四一 一四〇四
喪主 鈴木 清美
親 鈴木 清美
一清 清美
同和 清美